

第2学年 国語科の実践

1 単元名 あいての考えを引き出すしつもんをしよう

「あったらいいなこんなもの」(全7時間 本時3時間目)

2 単元目標

○身近なことを表す語句の量を増やし、語や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。
○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。

3 「ひびき合う三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題 「解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」

手だて…子どもの思いや願いを見とった単元構想と授業づくり

ブロックテーマ…「感じる心、素直に表現する自分」

- ・人の言動に何かを感じる姿
- ・自分の思いや他者からの刺激を受け止め、素直に表現する姿

〈聴く・話すについての指導〉

「聴く」ことについては、4月から話している相手に体を向けること、手を止めて最後まで聴くことの2つを中心に指導してきた。質問や意見は相手が話し終わってから始めることを習慣づけているところである。また、友だちの発表や連絡事項を「繰り返し自分で言えるように聴く」ということを目標に普段から過ごしている。

「話す」ことについては、発表したい、話したいという気持ちが強く、相手に伝わるような話し方に気を付けたり、周りが聞いているか気にしながら話したりするように指導しているところである。また、話す相手が教師になりがちで、友だちに向けて発表するという意識が低いため、ペアでの活動やグループでの活動を通して、友だち同士での意見交換を練習している。

〈これまでの関わり合い・ひびき合い〉

自分の意見や考えだけでは不安な児童がいるため、友だちの意見でもよいので発表できるように周りの人と話し合いの時間をとるようにしている。また、1人で発表することに抵抗がある児童には、ペアで発表したり、グループで発表したりするといった、複数人で発表する機会を設けている。国語や道徳の学習では、登場人物の心情を読み取ったり、情景描写を捉えたりする際に出てきた意見に対して、「一緒です。」「似ています。」「別の意見があります。」というように、自分の意見がどの立場なのかを明確にしながら反応することができている。

ペアやグループの意見をメモしたり、児童の意見について教師が全体に問い返したりと、相手の話を聴く必要がある活動を増やしている。

4 単元と指導について

(1) 単元と指導

〈単元について〉

本単元は、学習指導要領の A (1) ア「身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと」及び A (1) エ「話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと」を目標としている。そのため、互いに質問をし合って話し合いながら考えを深めていく活動を中心に進めていく。

「あったらいいなと思うもの」について、日常で面倒だと思っていることや困っていること、助けてほしい人について考えることをきっかけとして、「どんな姿、形をしているのか」「どうやって使うのか」といったことなどを考えていく。その過程で考えたこと発表し合ったり、友だちの発表に対して詳しく知るための質問をし合ったりする活動を設定し、対話を通して自分の説明を完成させていけるようにしたい。

〈指導について〉

これまでの国語や図工の学習で、自分の考えを絵に描いて表現することが得意な児童が多いこと、自分の考えを知ってもらいたいと思っている児童が多いことが分かった。「スイミー」の学習では、好きな場面やセリフをノートに記述する活動で、「文章だけじゃなくて絵も描いていいですか？」という声があったり、「こんな場面があったかもしれない」と自分で想像したシーンを描いたりしていた。また、生活科の「まちをたんけんたいはっけん」や国語の「メモをとるとき」の学習で、自分がメモしておきたいことを短く書く方法やコツ、相手に伝えるためにどのような書き方があるのかということについて触れてきている。しかし、メモをそのまま読み上げてしまったり、文章に起こすことができなかつたりする児童も少なくない。そこで、ワークシートには話型を提示したり、文章のテンプレートを載せたりすることで、発表の内容を整理することができるようにしておく必要がある。

本単元では、児童が日頃から困ったな、面倒だなと感じていることに対して、これらを解決するための「あったらいいな」と思う道具について考える。その中で、「自分が考えたことを話したい」「友達が考えた道具を知りたい」という気持ちが生まれると予想される。質問をし合い、自分の考えをより具体的なものにしていくことで、発表の内容を充実したものにしていきたい。

本時は、自分の考えや友達の考えを話し合う初めての時間である。話し合う中で出てきた疑問点や改善点について、素直に質問し合い、相手の考えをより知ろうと聴く姿をひびき合いの姿としたい。そのため、説明されたことや絵の内容以外について質問できるように指導していく。

5 単元構想 第2学年国語科 あいての考えを引き出すしつもんをしよう「あったらいいなこんなもの」
全7時間

単元目標 ○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。

○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。

あったらいいなと思うものを考えよう①②

- ・宿題がすぐに終わるカメラ。 ・宙に浮けるくつ。
- ・どんな曲でもすぐに弾けるようになるピアノ。
- ・絶対にホームランが打てるバット。
- ・もう考えられない！ ・友だちの考えが知りたい…

絵が描けるワークシート、
説明が書けるワークシート
を準備する。

できたらいいな、めんどうだな、困っているなっていうことはなに？

・宿題 ・歩くのが疲れる ・習い事が大変

【態】身近なものから想像を広げ、あったらいいなと思うものについて考えている。
(発言・ワークシート)

しつもんをしながら、自分の考えをくわしくしよう③(本時)④

相手の考えを引き出すための質問のしかたや、相手が話しやすい聴き方について確認する。

- ・どんな質問をしよう…
- ・大きさは？ ・どんな時に使うの？
- ・誰が使う？ ・どうやって使う？ 考えてなかった！
- ・質問に答えられない… ・なんて説明しよう…
- ・友だちのを知りたい！聞きたい！

【知】相手の考えをより詳しく理解するための、質問のしかたを理解している。
(発言・ワークシート)

【思】相手の話したいことや、自分が聞きたいことを落とさないように聞いて感想をもっている。(発言・ワークシート)

はっぴょうするじゅんびをしよう⑤⑥

- ・もっと詳しく説明するにはどうしよう。
- ・質問されたことを付け加えよう。
- ・話し方、聞き方は工夫できないかな？
- ・完成品を紹介したい。

【態】質問されたことから、道具の説明を詳しくしようとしている。
(発言・ワークシート)

図工の学習で絵を完成させる時間をとる。
(画用紙かタブレットのどちらで描くのか選べるようにする)

はっぴょう会をしよう⑦

- ・そのどうぐ自分もほしい！
- ・それがあれば○○な人が楽になるね。
- ・もっと詳しく知りたいな。

【思】友達の発表をよく聞き、進んで質問や感想を伝え合っている。(発言・観察)

6 本時について

本時目標 相手の考えをより詳しく理解するための質問のしかたを考えている。

学習活動	主な支援・留意点
<p>よりくわしくするチャンス！ ←</p> <p>◎こたえられなかったしつもんはどうしよう？</p> <p>○話の聞き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話している人を見る ・さいごまで聞く <p>・どんなことができるの？</p> <p>・どんな名前なの？</p> <p>・どれくらいの大きさ？</p> <p>・だれのためのもの？</p> <p>・色</p> <p>↓</p> <p>・形</p> <p>絵を見ればわかる！</p> <p>○しつもんのしかた</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>しつもんをしあつて、自分の考えをくわしくしよう</p> </div> <p>めあて</p>	<p>主な支援・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような質問をすれば相手の考えを詳しく聞くことができるかを確認し、ある程度の例を示しておく。また、友だち同士で質問をし合うことが、自分の考えをより詳しくすることにつながることを押さえておく。 ・困った質問、答えられなかった質問は、自分の考えを詳しくするためのきっかけになるので、メモを残すように伝えておく。 ・3,4人のグループで順番に発表、質問をしい、時間を決めて取り組む。 <p>教師の出どころ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より詳しくするための質問にはどのようなものがあるのか実際にやって見せて、モデルを示す。 ・答えられなかった質問は、自分の考えや説明をより詳しくするためのきっかけになることを振り返りで押さえる。 <p>◆相手の考えをより詳しく理解するための質問のしかたを考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>

7 実践を終えて

〈単元全体を通して子どもの解決したい問題になったかどうか〉

本単元は、自分が今困っていることや解決したい悩み、面倒だと思っていることに対して「あったらいいなこんなもの」を考える活動から始めた。宿題や習い事、おうちの手伝いなど、子どもたちが日常から感じている困り感を解消するための便利アイテムを考える楽しさを感じてもらうことで、積極的に活動に取り組もうとする姿勢を引き出すことができた。その一方で、話し合う中で出てきた質問や、後から付け加えた説明を自分たちの説明書に残していくことで、話し合えば話し合うほど説明が詳しくなっていく様子をより感じてもらえたのではないかと考える。

〈成果と課題〉

【成果】

・質問の仕方を全体で確認したことで、話し合いの活動にスムーズに取り組むことができていた。また、その内容を黒板に残しておくことで、何を質問していいのかわからなくなった児童は、板書を見ながら話し合い活動に参加することができていた。

【課題】

・話し合い活動の時間配分を細かく設定したが、ある程度まとまった時間を自由に使えるようにしたほうが、質問したい人は質問する、説明を続けたい人は続けるといったように、グループに合わせて適した時間の使い方ができた。

・質問の内容が「はい」か「いいえ」で答えられるものが多く、質問に対する回答から次の質問へのつながりが薄くなってしまった。

・発表の準備が十分にできていない児童は活動に参加することが難しくなってしまったので、ある程度完成させてからのほうがよかった。

